

黄色

令和4年度

# 事業報告書



公益財団法人足立区生涯学習振興公社



## 経営方針

公益財団法人足立区生涯学習振興公社（以下、公社）は、区民に学習、スポーツ及び文化活動の機会を提供するとともに、人材の育成や自主活動を支援する事業を行うことで生涯学習を推進し、「生き生きとした地域社会の創造」に寄与することを目的としている。

足立区では基本構想において、区のめざすべき将来像を「協創力でつくる活力にあふれ進化し続けるひと・まち足立」としている。また、足立区教育大綱では「夢や希望を信じて生き抜く人づくり」を基本理念とし、成人期の学びについて「自ら学ぶとともにその経験を社会に還元する意欲を育てる」としている。

公社はこれまでも、区民との協働による事業を協創による事業へと発展させながら、学びの成果を地域に還元するしくみづくりに取り組んできた。今後も、「区民・地域・団体等との協創」による生涯学習を推進し、「生き生きとした地域社会の創造」を進めていく。

特に、子どもたちが地域の大人と出会い、多様な体験ができる場である「あだち放課後子ども教室」は、児童期の生涯学習の場であるとともに、それを支える多くの大人の生涯学習の場でもあることから、引き続き中核事業として運営支援に取り組む。

また、学習・スポーツ・文化事業については、区民の主体的な活動を促すことを目的として、生涯学習を担う人材の育成と地域における自主的な活動を支援する事業を中心に展開し、活力ある地域社会の形成に寄与していく。

令和4年度の事業計画及び予算編成にあたっては、事業の重点化と効率化を徹底するとともに、区が策定した文化・読書・スポーツの3分野における推進計画や、「新・足立区放課後子ども総合プラン」の計画との連携を深め、事業の実施効果を上げていく。

また、より一層、ICTを活用したサービスの提供など、事業の工夫、改善、改革に取り組んでいく。さらに「第二次中期事業計画」に基づき、各種事業を推進していく。

## 重点事項

### 1 あだち放課後子ども教室の安定運営及び活動の充実に取り組む。

#### (1) 全校全学年実施に向けた取り組み

全校での週5日開催を安定的に継続するとともに、全学年実施校の拡大に向け運営支援と課題解決に努める。

#### (2) 放課後子ども教室体験プログラムの充実

「新・足立区放課後子ども総合プラン」<sup>\*</sup>を踏まえ、体験プログラムの充実及び学童保育室との連携強化を進める。体験プログラムの実施にあたっては、区民や団体等との協創を進め、より魅力的な活動の場への発展をめざす。特に、子どもの体力向上、読書啓発を重点課題として取り組む。

\*「新・足立区放課後子ども総合プラン」：平成30年9月に、国が全校の地方自治体に通知した「新・放課後子ども総合プラン」を受け、区が策定した。新プランでは、放課後子ども教室と学童保育室との一体型実施、または連携強化を進めるとしている。放課後子ども教室については、全学年実施、体験プログラムの充実などを目指す計画。

## 2 学習・スポーツ・文化の人材育成及び活動支援に取り組む。

### (1) 生涯学習機会の提供

地域での主体的な活動を促すための人材育成及び活動支援事業を中心に取り組むことで、学習・スポーツ・文化活動における協創力を高め、子どもから高齢者まで多くの区民への生涯学習機会の提供につなげていく。さらに、区のボトルネック的課題である貧困の連鎖を断ち切ることに資するために、児童・生徒を対象に体験機会の充実を図っていく。

### (2) 学びの還元

学習・スポーツ面では、区民が学んだ成果を各々の地域や放課後子ども教室などの場に還元する様々な体験機会が広がるように、その活動を継続的に支援する。

### (3) 文化・芸術に触れる機会の充実

文化面では、“アウトリーチ”をキーワードに、区の文化・読書・スポーツの三計画の共通理念に基づき、始まりとなる「楽しさに気づく」ことを重点として、区民が文化・芸術を身近なところで気軽に楽しめる機会を提供する。

## 3 公益財団法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う。

## 公 社 概 要

### 公益財団法人足立区生涯学習振興公社

設 立 平成5年2月1日（平成12年4月1日名称変更）

公益認定 平成21年10月1日公益財団法人

基本財産 15億円

代 表 者 理事長 大高 秀明

職 員 数 40名

派遣7名（常勤5名、再任用2名）、固有20名（常勤17名、再任用3名）  
非常勤13名

住 所 〒120-0034 東京都足立区千住五丁目13番5号 学びピア21

ホームページアドレス <https://www.kousya.jp/>

### 組 織 図

(決議機関)

評議員会

(監査機関)

監 事

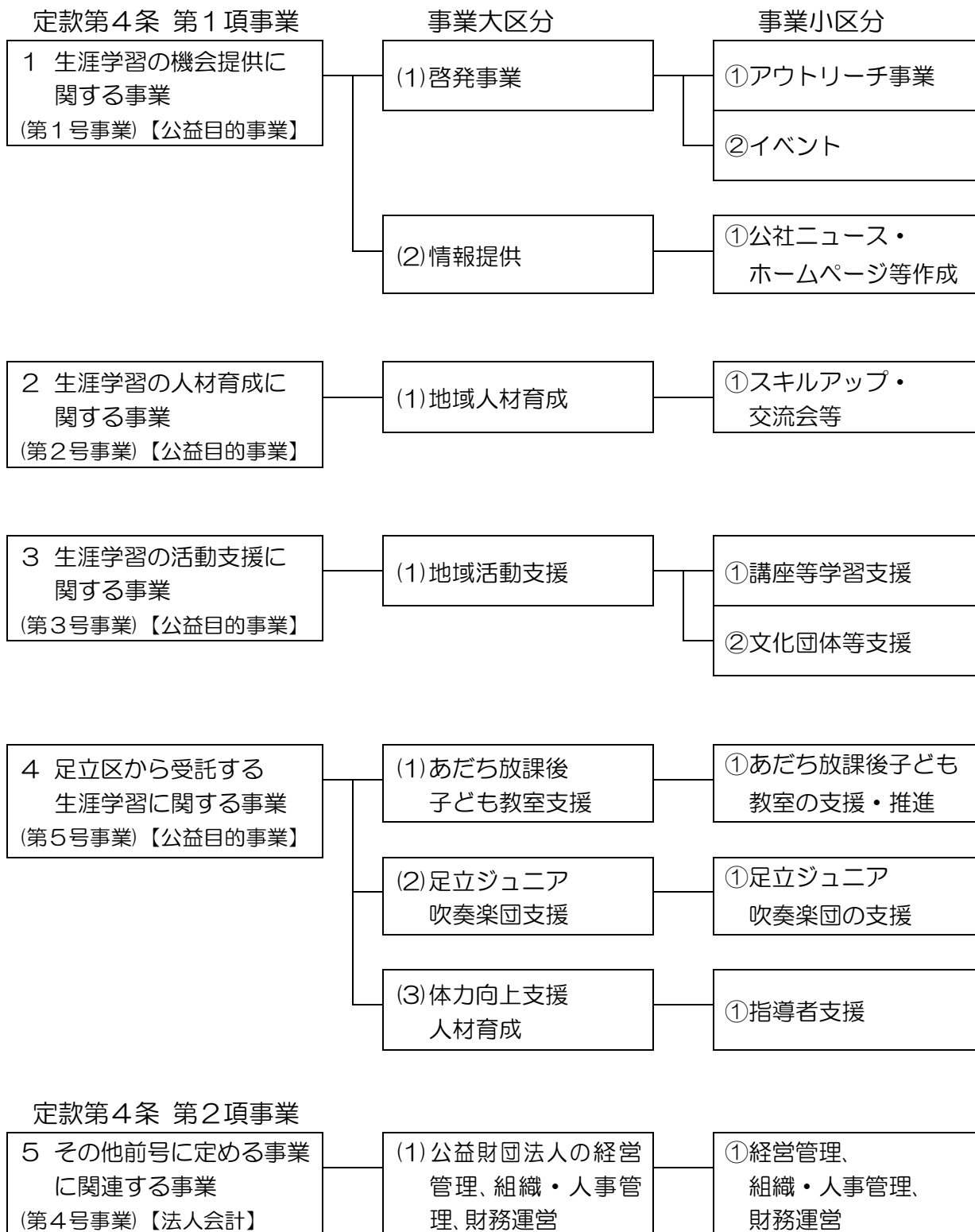
(執行機関)

理 事 会 — 理 事 長 — 副 理 事 長  
(代表理事) (業務執行理事)

(事 務 局)

事務局長  $\left\{ \begin{array}{l} \text{総務部} \quad \text{企画総務課、企画調整担当課長、経理課} \\ \text{学習事業部} \quad \text{放課後子ども教室推進課、放課後子ども教室地域担当課長} \\ \quad \quad \quad \text{学習・スポーツ事業課、文化活動支援課} \end{array} \right.$

# 令和4年度 定款事業別体系図



# 目 次

---

## 1 あだち放課後子ども教室事業

---

【1】 あだち放課後子ども教室の支援 <<区受託>> . . . . .	8-11
--------------------------------------	------

---

## 2 文化事業

---

【1】 あだちアートリンクカフェ . . . . .	12
【2】 文化団体等支援 . . . . .	12-13
【3】 イベントコーディネート事業 . . . . .	13
【4】 足立ジュニア吹奏楽団の育成・活動支援 <<区受託>> . . . . .	13-14
【5】 足立ジュニア吹奏楽団演奏会支援(楽器運搬) . . . . .	15
【6】 コンサート in ミュージアム . . . . .	15
【7】 コンサート in ミュージアムPR動画の作成、配信 . . . . .	16
【8】 ドラムサークル in A-Festa 2022 . . . . .	16
【9】 小学校アウトリーチコンサート . . . . .	17
【10】 子どもの未来応援アウトリーチコンサート . . . . .	17-18

---

## 3 生涯学習・スポーツ事業

---

【1】 あだちこどもサポーター支援事業 . . . . .	19-20
【2】 スポーツ指導者スキルアップ講習会 <<区受託>> . . . . .	21-22
【3】 健康づくり・スポーツ活動支援講座 . . . . .	22
【4】 生涯学習活動支援講座 . . . . .	23
【5】 生涯学習コーディネート事業 . . . . .	23
【6】 読み語りキャラバン隊によるおはなし会 . . . . .	24

---

## 4 広報事業

---

- 【1】「公社ニュース トキメキ」での事業等情報発信 . . . . . 25
  - 【2】 公社ホームページによる情報提供事業 . . . . . 25
- 

## 5 その他

---

- 【1】 公益目的事業に対する人件費 . . . . . 26
- 【2】 公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営 . . . . . 26

# 1 あだち放課後子ども教室事業

あだち放課後子ども教室事業	予算現額	13,360,000 円
	執行額	9,873,115 円
	協定金	215,106,180 円
	執行額	183,805,778 円

※協定金(見守りスタッフ謝礼・各校消耗品費)は、預り金として執行

<b>【1】あだち放課後子ども教室の支援 《区受託》</b> <b>定款第4条第1項第5号</b> <b>(1) あだち放課後子ども教室支援 (欄外説明参照)</b> <b>① あだち放課後子ども教室の支援・推進</b>	予算現額	13,360,000 円
	執行額	9,873,115 円
	年間予定	実施結果
	通年	—

概要	あだち放課後子ども教室への運営支援
目的	①放課後子ども教室の安定運営の継続 ②放課後子ども教室における体験・交流活動の導入 ③地域で活躍する人材の活動の場づくり
実施結果	<p>1 放課後子ども教室の開催状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度末の小学校臨時休校を皮切りに令和2、3年度は、放課後子ども教室も休止、再開を繰り返してきた。令和4年度においては、年度当初こそ、感染状況への危惧から、開催を遅らせる判断をした実行委員会もあったが、6月には、3年ぶりに全68校が開催した。ただし、コロナ禍以前の運営内容とは大きな隔りがある。</p> <p>(1) 運営状況 (令和5年3月現在) (全68校)</p> <p>参加曜日の学年分け実施校:52校 週5日未実施校:11校          1年生未実施:15校 使用会場の限定(校庭のみ):2校</p> <p>(2) 感染症対策</p> <p>感染予防策として、三密(密閉・密集・密接)回避のため、対象学年の曜日分け、参加児童、スタッフ間の距離の確保、対面活動の一部制限を行った。また、マスク着用、手洗いの徹底、定期的な換気、共有箇所の消毒も継続して行った。</p> <p>2 放課後子ども教室運営の支援</p> <p>(1) 各実行委員会への支援</p> <p>実行委員会等の実施調整、スタッフの募集、スタッフへの謝礼支払い代行、新任スタッフ等に対する運営マニュアルの配付・説明、参加児童の登録事務の支援など。</p> <p>(2) 各放課後子ども教室の日常運営への支援</p> <p>開催時の巡回、運営課題への助言、事故・トラブル対応、学校との連絡調整、スタッフ会議出席、避難訓練の実施、運営に必要な事務の支援など。</p> <p>3 スタッフへの支援</p> <p>(1) スタッフ募集の支援</p> <p>ア スタッフ活動説明会の開催</p>



実施 結果	<p>第1回 5月26日(木)午前 会場:生涯学習センター 参加人数:7人(申込10人) スタッフ登録者:2人</p> <p>第2回 11月28日(月)午前 会場:生涯学習センター 参加人数:5人(申込7人) スタッフ登録者:4人 ※保護者を対象に、学校単独でのスタッフ活動説明会も実施した。 ※年間を通じて、随時、電話によるスタッフ活動の希望を受けている。</p> <p>イ スタッフ募集案内の配布 放課後子ども教室およびスタッフの活動内容や体験談等を掲載した「スタッフ募集案内」を、小学校の保護者や町会等地域住民および民生・児童委員協議会を通じて民生委員に配布した。併せて、生涯学習センター等公共施設、区内の大学等へ配架し周知に努めた。</p> <p>(2) 安全管理講習会及び安全管理員(スタッフ)研修会の実施</p> <p>ア 安全管理講習会 ケガ等の発生時に、スタッフが速やかに適切な対応をとることができるように、心肺蘇生法や応急手当に関する知識・実技を習得する講習会を開催した。また、令和4年度から、会場として公共施設を活用し、スタッフが希望する日程、場所を選択する形式に変更した。実施回数:30回 受講者数:979人</p> <p>イ 安全管理員(スタッフ)研修会</p> <p>① 「子どもとの接し方」～「特別な配慮を必要とする子」の理解と見守り～ 日時:6月3日(金)午前 場所:生涯学習センター 参加人数:38人 講師:鈴木 茂義氏(上智大学基盤教育センター非常勤講師) ※動画配信 期間:7月～3月 アクセス数 チャプター1:39回 チャプター2:29回 チャプター3:17回 チャプター4:27回</p> <p>② 「子どもとの接し方」 ～子どもと大人のストレスの理解と、心が軽くなる見守りのコツ～ 日時:11月4日(金)午前 場所:生涯学習センター 参加人数:31人 講師:日向野 智子氏(東京未来大学準教授) ※動画配信 期間:12月～3月 アクセス数 前編:73回 後編:46回 ※スタッフ会議にて上映した学校(亀田小:8人参加)あり</p> <p>③ “一人でできる” “離れてできる”遊びの紹介 日時:令和5年2月16日(木)午前 場所:生涯学習センター 参加人数:34人 講師:放課後子ども教室スタッフ、公社職員 ※12月5日(月)実施予定を延期し(感染拡大期により)、上記日程で開催 ※令和5年度動画配信</p> <p>④ 東京都放課後子供総合プランスタッフ研修動画配信 放課後活動における心の健康とケア ～新型コロナウイルス感染症と子供のかかわり方について～ 東京都放課後子供総合プランスタッフ研修(YouTube 配信)を、公社ホームページの「スタッフ専用ページ」を介して、スタッフ限定で視聴できるように整え</p>
----------	---

た。スタッフ専用ページ動画公開ページアクセス数:66回

#### 4 運営委員会の開催

日時:令和5年1月24日(火)午後 場所:生涯学習センター

講演会「あらためて考える遊びの大切さ」内藤久士氏(順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康医科学研究所所長 教授)、教育委員会からの情報提供

出席者:実行委員長、関係団体代表

#### 5 事業の周知

広報紙「公社ニュース トキメキ」、足立区・公社ホームページ、利用案内、スタッフ募集パンフレット、「スタッフ募集動画」の配信、生涯学習センターでのパネル掲示により、事業周知を行った。

#### 6 「新・足立区放課後子ども総合プラン」の実現

##### (1) 学童保育室との連携

学童保育室の指導員と活動時の留意事項の情報共有を随時行った。

##### (2) 体験プログラムの導入支援 (『放課後+(プラス)One(ワン)』)

自由遊び・自主学習を主な活動としている放課後子ども教室に、児童の体験・交流機会を拡充する取り組みとして、体験プログラムを実施している。

体験プログラムは、実行委員会が中心となって実施し、すべての放課後子ども教室で継続的に行うことをめざす。公社は、実行委員会がプログラムを担えるよう、運営状況に適したプログラムの導入支援を行っている。

##### ア 密にならない遊びの提案

コロナ禍による活動制限の中で、児童の活動内容が、集団遊びから一人遊びが中心となったため、一人遊びに適したもの、スタッフの介在なしに児童が自主的に取り組めるような活動を提案した。

事例:一人遊び用遊具の提供(立体パズル・国旗ぬりえ) モルック等の遊びの手順書

##### イ 地域・各種協力団体との連携

公社が研修等を行い活動支援しているおりがみサポーター(P.20)や東京都、足立区、区内団体など、児童向け体験事業を実施している部署等と連携し、協力者を実行委員会につないだ。

事例:おりがみサポーターによるおりがみ教室、区パークイノベーション推進課ワークキット

##### (3) 特別な配慮を必要とする児童への対応

区の依頼に基づき、スタッフ研修のテーマに「子どもとの接し方」を取り上げ、事例等から対応策を学んだ。

<実績> 令和3年度(9/1~11休校)、令和4年度(休校なし)

項目	令和3年度	令和4年度
のべ実施日数	6,214日	9,907日
のべ参加児童数	205,887人	349,432人

実施  
結果

活動スタッフ人数	1,117 人	1,119 人
各教室への巡回	1,871 回	2,661 回
会議・打合せ・説明会等	666 回	683 回

<ケガ・物損等の対応>

項 目	令和 3 年度	令和 4 年度
児童のケガ・物損等に 伴う 保護者対応	ケガ 450 件 内訳 通院あり 65 件 (うち入院 2 件) 物損 2 件	ケガ 699 件 内訳 通院あり 106 件 (うち入院 1 件) 物損 7 件
スタッフのケガ・物損等に 伴う 保険対応	ケガ 5 件 内訳 通院あり 5 件 (うち入院 1 件) 物損 1 件	ケガ 10 件 内訳 通院あり 10 件 (うち入院 2 件) 物損 0 件

事業評価 と課題へ の対応	<p>1 放課後子ども教室の開催については、令和 4 年 6 月に、3 年ぶりに全校が開催した。</p> <p>2 従来の実施内容(全学年・週 5 日・複数会場での活動)に戻していくため、他校の実施状況や実施に対する工夫などの情報提供をし、運営へのサポートを行う。</p> <p>3 スタッフ研修会は、集合型の研修と併せて映像資料を活用することができた。令和 5 年度においても、動画配信の実施を調整していく。</p>
---------------------	---

あだち放課後子ども教室：放課後の小学校の校庭や図書室等を活用し、小学生に安全安心な居場所を提供する足立区教育委員会主催の事業。地域の方々が安全管理員(以下、スタッフ)として、見守る中、子どもたちが自主的に遊び、学び、読書等さまざまな体験、交流をおこなう活動場所

## 2 文化事業

文化事業	予算現額	12,230,000 円
	執行額	10,349,728 円

<b>【1】あだちアートリンクカフェ</b> <b>定款第4条第1項第2号</b> <b>(1)地域人材育成 ①スキルアップ・交流会等</b>	予算現額		60,000 円	
	執行額		38,129 円	
	予定回数/目標人数		実施結果	
	3 回	60 人	3 回	69 人
概要	アートに関わる方々を対象とした、新たな出会いと交流を図る情報交換会			
目的	①様々なジャンルの方が参加するプラットフォームを形成し、文化芸術の活性化を図る。 ②参加者の新たな出会いと交流により、それぞれの自発的な活動の広がりにつなげる。			
実施結果	第84回 テーマ「デザインの仕事と地域活動」 日時:5月27日(金) 夜間 場所:生涯学習センター 参加人数:17人 ゲストスピーカー:猪又 章夫氏(ろじゅらデザイン・デザイナー、千住いえまちメンバー)			
	第85回 テーマ「想いの届く日」 日時:9月30日(金) 夜間 場所:生涯学習センター 参加人数:20人 ゲストスピーカー:大前 恵子氏(声楽家)			
	第86回 テーマ「これまでのこと、これからのこと」 日時:令和5年2月24日(金) 夜間 場所:生涯学習センター 参加人数:32人 ゲストスピーカー:遠田 節氏(公益財団法人足立区生涯学習振興公社職員)			
事業評価と課題への対応	1 第84回は、デザインに関する専門的な話を伺い、第85回は、足立区や被災地等での体験談を伺った。第86回は、公社職員が、今後の展望についての話しをした。 2 当事業は令和4年度をもって終了、別の形での情報交換会の実施を支援していく。			

<b>【2】文化団体等支援</b> <b>定款第4条第1項第3号</b> <b>(1)地域活動支援 ②文化団体等支援</b>	予算現額		— 円	
	執行額		— 円	
	予定回数/目標人数		実施結果	
	6 回	—	7 回	2,507 人
概要	区内で公演を開催する団体に対する助言や活動場所などの支援			
目的	文化団体の活動を支援することにより、区民の文化芸術活動の充実に寄与する。			
実施結果	ホルン倶楽部 スプリングコンサート (後援) 日時:4月24日(日) 午後 場所:生涯学習センター 参加人数:60人			
	足立吹奏楽団 第30回スプリングコンサート (後援) 日時:5月29日(日) 午後 場所:西新井文化ホール 参加人数:521人			
	プリランテ 夏のコンサート (後援) 日時:7月8日(金) 夜間 場所:西新井文化ホール 参加人数:308人			
	歓喜の演 Vol.21 <合唱> (共催) 日時:11月23日(水・祝) 午後 場所:西新井文化ホール 参加人数:397人			

実施結果	ブリランテ 冬のコンサート（後援） 日時:12月11日(日) 午後 場所:西新井文化ホール 参加人数:524人
	歓喜の演 Vol.21 <狂言>（共催） 日時:令和5年1月21日(土) 午後 場所:西新井文化ホール 参加人数:222人
	足立吹奏楽団 第42回定期演奏会（後援） 日時:令和5年2月19日(日) 午後 場所:西新井文化ホール 参加人数:475人
事業評価と課題への対応	主体的に文化芸術活動に取り組む区内の団体に対し、練習会場の確保、広報資料や感染防止対策への助言などの支援を行った。今後も各団体が活動を継続できるように、支援していく。

<b>【3】イベントコーディネート事業</b> <b>定款第4条第1項第3号</b> <b>(1)地域活動支援 ②文化団体等支援</b>	予算現額		—	
	執行額		—	
	予定回数/目標人数		実施結果	
	随時	—	4件	—
概要	地域の団体・機関、小学校等からのイベントの企画・運営や出演者に関する相談窓口			
目的	地域での主体的な文化芸術活動を支援する。			
実施結果	「令和5年度文化芸術による子供育成推進事業」(文化庁)に申請し、ドラムサークル*を実施する小学校についての相談。【一般社団法人メディカルリズム協会】			
	※ドラムサークル:参加者が輪になってリズムのガイド役の合図で奏でる打楽器の即興演奏			
	クリスマス会での催し物の企画についての相談。【梅田ひまわり工房】			
	子ども向けコンサートの出演者についての相談。【江南児童館】			
事業評価と課題への対応	子ども向けコンサートの企画と区内出身の演奏家についての相談。【アダチベース*】			
	※アダチベース:区からの委託を受け、子どもの居場所づくりや学習支援などを行う施設			
事業評価と課題への対応	今年度は4件の相談があり、イベントの企画への助言の他、催し物を希望する小学校へのつなぎや出演者の紹介などを行った。引き続き、相談者のニーズに合ったコーディネートや助言等の支援を行っていく。			

<b>【4】足立ジュニア吹奏楽団の育成・活動支援</b> <b>《区受託》</b> <b>定款第4条第1項第5号</b> <b>(2)足立ジュニア吹奏楽団支援 ①足立ジュニア吹奏楽団の支援</b>	予算現額		4,675,000円	
	執行額		4,365,742円	
	予定回数/目標人数		実施結果	
	98回	12,280人	100回	3,070人
概要	足立ジュニア吹奏楽団の運営、演奏会や練習等への支援			
目的	①生涯にわたり音楽活動に関わり、音楽を愛好する児童の育成を図る。 ②楽団活動を通して、区の音楽文化の向上、発展に寄与し、魅力ある地域づくりに貢献する。			
実施結果	<定期練習> 毎週水曜日夜間、土曜日午後 島根小学校音楽室、ギャラクシティなど 89回 1,727人			

実施 結果	< 楽団活動 >
	卒団式(令和3年度) 日時:4月23日(土) 夜間 場所:西新井文化ホール 参加人数:136人
	入団式 日時:5月11日(水) 夜間 場所:西新井文化ホール 参加人数:50人
	楽団友の会*総会 日時:6月25日(土) 午後 場所:ギャラクシティ 参加人数:30人 ※楽団友の会:団員の保護者で構成され、楽団を運営する組織。
	夏合宿 日時:8月27日(土)~29日(月) 場所:日光林間学園 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
	ブラスキッズ 日時:令和5年3月8日(水)、19日(日)、21日(火・祝) 場所:島根小学校、西新井文化ホール 参加人数:3回28人
	卒団式 日時:令和5年3月21日(火・祝) 夜間 場所:西新井文化ホール 参加人数:65人
	< 自主演奏会 >
	第32回定期演奏会 日時:4月23日(土) 夜間 場所:西新井文化ホール 参加人数:186人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、3月の演奏会をこの日に延期した。
	ミニ演奏発表会 日時:10月22日(土) 夜間 場所:西新井文化ホール 参加人数:98人
	第33回定期演奏会 日時:令和5年3月21日(火・祝) 午後 場所:西新井文化ホール 参加人数:350人
	< 派遣演奏/イベント出演 >
	足立東部地区少年軟式野球総合開会式 日時:8月21日(日) 午前 場所:都立中川公園 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止
	セブン&アイ・クリエイトリック XmasリモートLIVE 日時:12月24日(土) 午後 場所:アリオ西新井 参加人数:400人 ※全国のアリオ等の店舗が各地域の音楽団体と連携し、全店舗をリモートでつなぐイベント。足立ジュニア吹奏楽団による音楽ライブ、ゲストによるトークと音楽ライブ、ゲストと全店舗の音楽団体をリモートでつないで同じ曲を演奏するリモートライブなど。
上記の他、区民体育大会総合開会式(総合スポーツセンター)やウルトラハロウィンキッズパレード(東京ドームシティ)など例年出演しているイベントは中止となった。	
事業評価 と課題への 対応	<p>1 新型コロナの影響により、演奏会等の中止が相次ぎ、団員数も42人から35人に減少した。こうした厳しい状況の中、感染防止対策を講じて活動を継続し、令和5年3月に4年ぶりに有観客での定期演奏会を開催することができた。</p> <p>2 今後も、安全かつ安定的に活動を継続できるよう、練習会場の確保や演奏会の実施調整、楽団活動のPRなど、楽団及び楽団友の会を支援する。</p>

<b>【5】足立ジュニア吹奏楽団演奏会支援(楽器運搬)</b> <b>定款第4条第1項第3号</b> <b>(1)地域活動支援 ②文化団体等支援</b>	予算現額		352,000 円	
	執行額		91,300 円	
	予定回数/目標人数		実施結果	
	4 回	—	1 回	
概要	足立ジュニア吹奏楽団の演奏会に伴う楽器運搬費用の助成			
目的	楽団活動の活性化と区民が音楽に親しむ機会の拡大に寄与する。			
実施結果	セブン&アイ・クリエイトリック XmasリモートLIVE 日時:12月24日(土) 午後 場所:アリオ西新井 参加人数:400人			
事業評価と課題への対応	多くのイベントが中止となったため、楽器運搬費の助成は1回であった。今後も新型コロナの感染防止に努め、より多くの演奏会等の活動を継続できるよう支援する。			

<b>【6】コンサート in ミュージアム</b> <b>定款第4条第1項第1号</b> <b>(1)啓発事業 ②イベント</b>	予算現額		2,497,000 円	
	執行額		1,943,898 円	
	予定回数/目標人数		実施結果	
	6 回/4 館	260 人	6 回/3 館	134 人
概要	区内5か所の民間文化施設で実施するコンサートや催し物			
目的	①コンサート等の楽しさや各施設の魅力を区民に伝える。 ②5施設をつなぎ、協創関係を構築することで、区民への文化発信の相乗効果を図る。			
実施結果	テーマ「ピアノと歌による珠玉のメロディを緑と水の揺らぎとともに」 日時:6月19日(日) 午後 場所:六町ミュージアム・フローラ 参加人数:2回 50人 内容:施設の紹介、ピアノのコンサート、ソプラノとの共演 出演:白石 光隆氏(ピアノ) ゲスト:大前 恵子氏(ソプラノ)			
	テーマ「フルートとハープで巡るヨーロッパの旅 庭園の風とともに」 日時:9月11日(日) 午前・午後 場所:昭和の家(平田邸) 参加人数:2回 47人 内容:施設の紹介、フルート・ハープのコンサート 出演:森岡 有裕子氏(フルート)、福島 青衣子氏(ハープ)			
	わたなべ音楽堂(ベルネザール)、BUoY(ブイ)は、「子どもの未来応援アウトリーチコンサート」を実施。(P.18) ※わたなべ音楽堂(ベルネザール)は、8月21日(日)に実施。(参加人数:2回 37人) ※BUoY(ブイ)は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和5年度に延期。			
事業評価と課題への対応	1 六町ミュージアム・フローラ、昭和の家(平田邸)とも、感染防止対策のため定員を1回50人から25人に減員して実施し、参加者のアンケートで好評を得た。 2 高校生の参加を促すため、18歳以下無料(一般1,000円)で優先枠を設けたが、応募が少なかった。次年度は高校での周知を行い、高校生の参加拡大を図る。			

当事業の予算及び執行額は P15 の【6】に含む

【7】コンサート in ミュージアムPR動画の作成、 配信 定款第4条第1項第1号 (1)啓発事業 ②イベント		予定回数/目標人数		実施結果	
		1回	—	1 施設作成 計 5 施設配信	
概要	コンサート in ミュージアム事業をPRする動画の作成、配信				
目的	①コンサート等の楽しさや各施設の魅力を区民に伝える。 ②時間や場所を問わず、気軽にコンサート等の動画を視聴できる機会を提供する。				
実施結果	石洞美術館 テーマ「歌と古染付、時代と心をつなぐ名曲たち」 内容:施設の紹介、声楽・ピアノのコンサート 出演:カントキューブ(オペラユニット) ※令和5年3月29日(水)からYouTubeで配信				
事業評価と課題への対応	1 施設への興味関心を高めるため、建物や展示品の特徴が生かした内容となるよう、施設側と協議を重ねて動画を作成した。 2 今後は、これまでに動画を作成・配信している4館とともに、公社ニューストキメキやホームページ、Facebookやポスター・チラシなどにより周知していく。				

当事業の予算及び執行額は P15 の【6】に含む

【8】ドラムサークル in A-Festa 2022 定款第4条第1項第1号 (1)啓発事業 ②イベント		予定回数/目標人数		実施結果	
		4回/日	400人	3回	87人
概要	参加者が打楽器で即興演奏を行う参加型イベント				
目的	リズムを奏でる楽しさや参加者間のコミュニケーションを体感し、音楽への興味関心を高めるきっかけとする。				
実施結果	ドラムサークル「どんどこフェスタ」 ※A-Festa2022が中止となったため小学校で実施した。(1年生1クラスずつ3回実施) 日時:令和5年2月1日(水) 午前 場所:花保小学校体育館 参加人数:3回87人 内容:参加者が輪になって、リズムのガイド役の合図で奏でる打楽器の即興演奏。 出演:石川 武氏、若林 竜丞氏、他2名(一般社団法人メディカルリズム協会)				
事業評価と課題への対応	1 児童や先生に加え、見学の保護者も一緒に楽しく体験して、アンケートでは、児童・先生から好評を得た。 2 A-Festaは令和元年度から中止が続いて、ドラムサークルが実施できなかった。今後は「子どもの未来応援アウトリーチコンサート」の事業として継続的に実施する。				



<b>【9】小学校アウトリーチコンサート</b> <b>定款第4条第1項第1号</b> <b>(1)啓発事業 ①アウトリーチ事業</b>	予算現額		4,646,000 円	
	執行額		3,910,659 円	
	予定回数/目標人数		実施結果	
	24 回/8 校	600 人	21 回/8 校	580 人
概要	プロの演奏家が小学校に出向いて低学年向けに実施するコンサート			
目的	①生演奏や演奏家との交流を間近で体験することにより、音楽への興味関心や意欲を高める。 ②生涯にわたり音楽に親しむ豊かな感性を育むきっかけとする。			
実施結果	マリンバ・ピアノのコンサート ※1年生1クラスずつ実施。 日時:11月7日(月) 午前 場所:東湊江小学校 参加人数:3回 86人 日時:11月8日(火) 午前 場所:島根小学校 参加人数:3回 94人 日時:12月6日(火) 午前 場所:寺地小学校 参加人数:2回 57人 日時:12月7日(水) 午前 場所:東伊興小学校 参加人数:3回 81人 内容:クラシック曲の演奏、様々な楽器の紹介、校歌の演奏など 出演:塚越 慎子氏(マリンバ)、武本 和大氏(ピアノ)			
	ヴァイオリン・ピアノのコンサート ※1年生1クラスずつ実施。 日時:11月28日(月) 午前 場所:梅島小学校 参加人数:3回 99人 日時:12月2日(金) 午前 場所:舎人第一小学校 参加人数:3回 82人 日時:12月8日(木) 午前 場所:弘道小学校 参加人数:2回 37人 日時:12月9日(金) 午前 場所:扇小学校 参加人数:2回 44人 内容:クラシック曲の演奏、楽器の音の出る仕組みの説明、校歌の演奏など 出演:礒 絵里子氏(ヴァイオリン)、白石 光隆氏(ピアノ)			
事業評価と課題への対応	1 令和3年度より実施校を3校から8校に拡大し、全ての小学校から希望を募って実施している。 2 同じ曲の曲調を変えて演奏して児童に感想を聞き、「音楽の感じ方は全てが正解なので自分の思ったことを大切にしたい」と、自己肯定感を高めるメッセージを伝えた。 3 アンケートでは、児童から「音がきれいで感動しました」等の好評を得た。今後も子どもへの豊かな体験機会を提供していく。			

当事業の予算及び執行額はP17の【9】に含む

<b>【10】子どもの未来応援アウトリーチコンサート</b> <b>定款第4条第1項第1号</b> <b>(1)啓発事業 ①アウトリーチ事業</b>	予定回数/目標人数		実施結果	
	3 回	90 人	4 回	162 人
概要	プロの演奏家が子どもに関わる施設等に出向いて実施するコンサート			
目的	①生演奏や演奏家との交流を間近で体験することにより、音楽への興味関心や意欲を高める。 ②音楽に親しむ豊かな感性を育む機会を提供することで、子どもの貧困対策にも資する。			

実施 結果	<p>オカリナ・クラシックギターのコンサート          日時:5月26日(木) 午前 場所:親子サロン(エル・ソフィア) 参加人数:21人          内容:アニメの曲や童謡、絵本を見せながらの演奏など          出演:山本 奈央氏(オカリナ)、志野 文音氏(クラシックギター)          協力:足立区女性団体連合会、足立区男女参画プラザ、梅田地域学習センター</p>
	<p>ヴァイオリン・チェロ・ピアノのコンサート          ※小・中学生と保護者を公募して実施。          日時:8月21日(日) 午後 場所:わたなべ音楽堂(ベルネザール) 参加人数:2回 37人          内容:クラシックやアニメの曲の演奏、楽器の説明など          出演:富沢 由美氏(ヴァイオリン)、西山 健一氏(チェロ)、清田 千絵氏(ピアノ)</p>
	<p>サクソフォーン四重奏のコンサート          ※小・中学生と保護者を公募して実施。          日時:令和5年1月7日(土) 午前 場所:生涯学習センター 参加人数:104人          内容:クラシックやアニメの曲、楽器の説明、演奏家を目指したときの話など          出演:クワチュールベアー(サクソフォーン四重奏)          協力:大和証券株式会社</p>
	<p>BUoY(ブイ)との連携による子ども食堂でのコンサートは、新型コロナウイルス感染症の影響により令和5年度に延期。</p>
事業評価 と課題へ 対応の	<p>1 親子サロンでは、アニメの主題歌や絵本を見せながらの演奏など、乳幼児に合わせた内容で実施した。小・中学生向けのコンサートでは、演奏に加え、楽器について学んだ。          2 子ども食堂での演奏が中止となった。令和5年度は、感染防止に努め、子どもに関わる施設と連携し、体験機会を提供していく。</p>

### 3 生涯学習・スポーツ事業

生涯学習・スポーツ事業	予算現額	899,000 円
	執行額	718,138 円

<b>【1】あだち子どもサポーター支援事業</b> <b>定款第4条第1項第2号</b> <b>(1)地域人材育成 ①スキルアップ・交流会等</b>		予算現額		341,000 円	
		執行額		194,027 円	
		予定回数/目標人数		実施結果	
		245 回	335 人	101 回	336 人
スキルアップ講座	概要	子どもサポーター活動に必要なスキルアップ支援講座			
	目的	①サポーター活動に必要な技術の向上を図る。 ②子どもの体験・交流活動を支えるサポーター活動の継続に役立つ研修機会を提供する。			
サポーターフォロー講座	概要	子どもサポーター活動を継続するための意識啓発講座			
	目的	①活動のモチベーションの向上を図る。 ②ボランティアとしての基礎知識と活動姿勢を身に付ける研修機会を提供する。			
サポーター活動支援	概要	子どもサポーター活動の始動や継続化のコーディネート、活動課題に対するアドバイス等 ※活動場所調整(放課後子ども教室実行委員会・スタッフ・保育園・高齢者施設等)			
	目的	①サポーターの活動場所を確保し定期活動につなげる。 ②サポーターの主体的活動への発展を目指す。			
サポーターネットワーク支援	概要	各サポーター活動での工夫や特色などを学び合う交流会等			
	目的	①活動者相互の情報交換・技術向上。 ②自主活動を促進し、区民への学習機会の提供につなげる。			
(1)読み語りボイストレーニング (2)読み語りキャラバン隊					
スキルアップ講座	読み語りボイストレーニングスキルアップ講座 日時:9月15日(木)午前 場所:生涯学習センター 実施回数:1回 参加人数:10人 講師:山下 芳子氏(足立区演劇連盟、演出家)				
サポーター活動支援	読み語りキャラバン隊の活動の支援(自主公演) 実施回数:3回				
サポーターネットワーク支援	読み語りキャラバン隊・自主練習会 実施回数:14回 参加人数:146人 読み語りキャラバン隊・活動連絡会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 実施回数:-回 参加人数:-人				
(3)おりがみサポーター					

スキルアップ講座	<p>おりがみサポータースキルアップ講座          ≪2日制×3コース≫          Aコース 日時:10月5日、12日午前 場所:生涯学習センター 参加人数:14人          Bコース 日時:10月19日、26日午前 場所:生涯学習センター 参加人数:24人          Cコース 日時:11月2日、9日午前 場所:生涯学習センター 参加人数:27人          実施回数:3回、参加人数:65人          講師:西川 光恵氏(日本折紙協会認定講師、教育カウンセラー)</p>
サポーター活動支援	<p>おりがみサポーターの活動支援(10校)          実施回数:78回</p>
サポーターネットワーク支援	<p>おりがみサポーター交流会Ⅰ          日時:6月22日(水)午前 場所:生涯学習センター          対象:サポーター活動中の方、活動休止中の方          実施回数:1回 参加人数:65人</p>
	<p>おりがみサポーター交流会Ⅱ          日時:令和5年1月25日(水)午前 場所:生涯学習センター          対象:サポーター活動中の方、活動休止中の方          実施回数:1回 参加人数:50人</p>
(4) 放課後子ども教室読書支援サポーター	
サポーター活動支援	<p>読書支援サポーター活動支援          新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止          実施回数:-回 参加人数:-人</p>
(5) サポーター支援(共通)	
サポーターフォロー活動支援	<p>サポーターフォロー講座Ⅰ          新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止          実施回数:-回 参加人数:-人</p>
	<p>サポーターフォロー講座Ⅱ          新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止          実施回数:-回 参加人数:-人</p>
事業評価と課題への対応	<p>1 「読み語りボイストレーニングスキルアップ講座」で、初めて「大型紙芝居」のめくり方や話し方を講義して、発表の幅を広げられるようにした。          2 「おりがみサポータースキルアップ講座」は、感染症対策として、コースを3つに分け、一講座の参加者数を少なくしながら実施した。          3 コロナ禍で、子どもたちも制約の多い生活を送り、ストレスを感じている。今後、心理カウンセラーの資格を持つ先生に、子どもの対応のヒントなども盛り込んだ指導をしてもらうなどのサポーター活動の支援を行う。</p>

<b>【2】スポーツ指導者スキルアップ講習会 《区受託》</b> <b>定款第4条第1項第5号</b> <b>(3)体力向上支援人材育成 ①指導者支援</b>	予算現額		234,000 円		
	執行額		231,244 円		
	予定回数/目標人数		実施結果		
	8 回	240 人	8 回	185 人	
概要	高齢者を指導する地域のスポーツ指導者や高齢者に関わる活動に携わる方、又は子どもを指導する地域スポーツ指導者や保育・学校体育等に対象とした運動指導の実践講習会				
目的	①地域指導者等のスキルアップの機会を通して、区民の健康体力づくりを推進する。 ①「運動あそび」の実践方法を習得し、楽しく効果的な運動機能向上プログラムを普及する。				
実施結果	<高齢者指導編>				
	前期高齢者の運動指導 I 日時:5月14日(土)午後 場所:生涯学習センター 参加人数:29人 講師:田中 秋乃氏(健康運動指導士、日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー)				
	前期高齢者の運動指導 II ※【パークで筋トレ】の体験講習含む 日時:5月14日(土)午後 場所:生涯学習センター 参加人数:29人 講師:田中 秋乃氏(健康運動指導士、日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー) 《パークで筋トレ体験講習指導》 出井 芳恵氏(パークで筋トレ指導員)				
	後期高齢者の運動指導 I 日時:令和5年1月14日(土)午後 場所:生涯学習センター 参加人数:30人 講師:村上 憲治氏(帝京科学大学教授)				
	後期高齢者の運動指導 II ※【パークで筋トレ】の体験講習含む 日時:令和5年1月14日(土)午後 場所:生涯学習センター 参加人数:31人 講師:田中 秋乃氏(健康運動指導士、日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー) 《パークで筋トレ体験講習指導》 門脇 美乃里氏(パークで筋トレ指導員)				
	<子ども指導編>				
	小学生の運動あそび I 日時:5月28日(土)午後 場所:生涯学習センター 参加人数:17人 講師:篠原 俊明氏(共栄大学講師)				
	小学生の運動あそび II 日時:5月28日(土)午後 場所:生涯学習センター 参加人数:17人 講師:篠原 俊明氏(共栄大学講師)				
	子どもの運動あそび I 日時:12月11日(日)午後 場所:生涯学習センター 参加人数:16人 講師:篠原 俊明氏(共栄大学講師)				
	子どもの運動あそび II 日時:12月11日(日)午後 場所:生涯学習センター 参加人数:16人 講師:篠原 俊明氏(共栄大学講師)				
	事業評価と課題への対応	<高齢者指導編> 1 高齢者の運動指導者または興味のある人材を、区介護予防事業「パークで筋トレ」の指導員や補助員へつながるよう事業協力を呼びかけ、スポーツ振興課へ4人つないだ。			

事業評価 と課題へ の対応	2 当講習会を「区公認スポーツ指導員」資格更新対象講座と位置づけ、スポーツ指導者として知っておくべき知識や、実技の技能向上のレベルアップも図っている。
	<子ども指導編> 1 子どもの体力・運動能力の現状や、子どもにとってのあそびの重要性などを講義で学び、実技では、あそびの体験をして、指導者としてのスキルアップを図った。 2 コロナ禍で、長い間、あそびを通じた子ども同士のコミュニケーション能力の育成の機会が減っていた。今後の講座で、他者と関わるコミュニケーションや社会性の向上を重要な指導ポイントとする。

<b>【3】健康づくり・スポーツ活動支援講座</b> <b>定款第4条第1項第3号</b> <b>(1)地域活動支援 ①講座等学習支援</b>	予算現額		194,000 円	
	執行額		176,744 円	
	予定回数/目標人数		実施結果	
	2 回	60 人	2 回	45 人
概要	健康づくり・スポーツ活動や、そのサポートをする人の学習を支援する講座			
目的	①生涯スポーツを楽しく安全に継続するためのトレーニング理論を学ぶ機会を提供する。 ②スポーツ科学の第一線の講師による最新情報を提供する。			
実施 結果	スポーツコンディショニング講座 ～市民ランナーのためのケガをしない走り方～ 日時:8月5日(金)午前 場所:生涯学習センター 実施回数:1回 参加人数:19人 講師:西田 隆維氏(一般社団法人シャイニング代表理事 元世界選手権マラソン日本代表)			
	あだちウェルネスカレッジ ～身体の左右差を整え姿勢を改善しよう～ 日時:10月25日(火)午前 場所:生涯学習センター 実施回数:1回 参加人数:26人 講師:加古 円氏(全米アスレティックトレーナー協会認定アスレティックトレーナー、Lotus Sport Performance 代表)			
事業評価 と課題へ の対応	1 「スポーツコンディショニング講座 ～市民ランナーのためのケガをしない走り方～」は、参加者の8割が50歳以上だった。今後も、区民の健康づくり・体力づくりに関与できるような講座を実施し、健康増進につなげていきたい。 2 「あだちウェルネスカレッジ」は、定員30人に153人の応募があり、大半の方が受講できなかった。令和5年度は、定員を増やし、より多くの方の受講を可能にする。			

【4】生涯学習支援講座 定款第4条第1項第3号 (1)地域活動支援 ①講座等学習支援		予定回数/目標人数		実施結果	
		2回	60人	2回	35人
概要	地域活動に関わる人の学習を支援する講座				
目的	子どもに関わる大人が、それぞれの活動に活かせる知識を習得する。				
実施結果	子ども学講座Ⅰ ～ネットいじめに直面する子どもへの支援～ 日時:7月8日(金)午前 場所:生涯学習センター 実施回数:1回 参加人数:13人 講師:須田 誠氏(東京未来大学教授)				
	子ども学講座Ⅱ ～コロナ禍で大切にすること～ 日時:令和5年2月10日(金)午前 場所:生涯学習センター 実施回数:1回 参加人数:22人 講師:藤後 悦子氏(東京未来大学教授)				
事業評価と課題への対応	1 「子ども学講座Ⅰ」は、3年度は、コロナ感染拡大を受けて中止となったが、今年度はコロナ対策を行い、いじめの構造、子どもの SNS の利用状況、対策について講座を実施した。 2 「子ども学講座Ⅱ」は、心理学的側面から見た子どもの言動などについて学ぶ機会を提供し、地域活動や日常生活に活かしていくことを目的に実施した。 3 新型コロナウイルス感染拡大期の日常が終了したことで、子どもを取り巻く環境は大きく変化している。最新の状況を踏まえた講座を実施することで、大人が適切に対応できるようにする。				

【5】生涯学習コーディネート事業 定款第4条第1項第3号 (1)地域活動支援 ①講座等学習支援		予算現額		—	
		執行額		—	
		予定回数/目標人数		実施結果	
		随時	—	3件	—
概要	地域団体等が実施する学習会などの企画相談に応じ、講師紹介等を行う学習活動の相談窓口				
目的	地域での主体的な学習活動の活性化を図る。				
実施結果	・長門住区センターより「ボイストレーニング講座」実施の相談 ・住区推進課より「子ども学講座Ⅰ～ネットいじめに直面する子どもへの支援～」での講師の方で研修を行いたいとの相談 ・皿沼小学校「開かれた学校づくり協議会」から「子どもとのコミュニケーション」「おりがみをツールとした心理的な内容」でのおりがみ教室の西川講師の紹介の相談 実施結果 相談3件				
事業評価と課題への対応	各相談の希望に対して、実施している講座等の経験から、講師の提案を行った。今後も、地域団体の活動支援につながるよう、コーディネート事業として企画、提案などを行っていく。				

<b>【6】読み語りキャラバン隊によるおはなし会</b> <b>定款第4条第1項第1号</b> <b>(1)啓発事業 ①アウトリーチ事業</b>	予算現額		130,000 円	
	執行額		116,123 円	
	予定回数/目標人数		実施結果	
	5 回	200 人	7 回	236 人
概要	地域の施設等で、子どもや親子に読書に親しんでもらう機会を提供するイベント型おはなし会			
目的	①本や言葉に対する子どもの興味関心を高める。 ②親子や友達と本を介した共有体験を通して、コミュニケーションの機会を創る。			
実施結果	① 日時:6月16日(木) 午前 場所:ギャラクシティ 参加人数 30人 ② 日時:10月13日(木) 午後 場所:生涯学習センター 参加人数 25人 ③ 日時:11月29日(火) 午前 場所:神明児童館 参加人数 52人 ④ 日時:12月15日(木) 午後 場所:ギャラクシティ 参加人数 33人 ⑤ 日時:令和5年2月9日(木) 午前 場所:平野児童館 参加人数 25人 ⑥ 日時:令和5年3月10日(金) 午前 場所:東伊興生活館 参加人数 32人 ⑦ 日時:令和5年3月26日(日) 午前 場所:生涯学習センター 参加人数 39人 実施回数:7回 参加人数:236人			
事業評価と課題への対応	1 多くの方が参加できるよう、広報紙の掲載に加え、ポスター掲示やチラシ配布も行い周知に努めた。ギャラクシティで「読み語りキャラバン」を開催した際は、事前の申込みの方に加え、当日、館内の施設で声掛けを行い、参加者を増やした。 2 生涯学習センターでは、平日午後に開催していた。今回、親子で参加しやすいよう、小さなお子さんのお昼寝前の時間帯である、日曜日の午前11時開催に変更した。 3 参加を希望する方が増えてきた。令和5年度は、感染状況の落ち着きを確認しながら、保育園やデイサービスなどへの出張を検討する。			



#### 4 広報事業

広報事業	予算現額	9,441,000 円
	執行額	9,391,496 円

<b>【1】「公社ニュース トキメキ」での事業等情報発信 定款第 4 条第 1 項第 1 号 (2)情報提供 ①公社ニュース・ホームページ等作成</b>	予算現額	7,697,000 円	
	執行額	7,696,128 円	
	予定回数/目標人数	実施結果	
	12 回	12 回	47 件
概要	「あだち放課後子ども教室」など受託事業情報や公社自主事業を掲載(取りまとめ・発行は足立区勤労福祉センターゆう、年 12 回、全戸配布)		
目的	公社事業を広く区民に周知する。		
実施結果	毎月 1 日発行、区内全戸配布(月 34 万 6 千部発行) 毎月、事業の募集案内等を掲載した。 〈内訳〉 放課後子ども教室 13 件、学習・スポーツ事業 15 件、文化事業 13 件(8 月号、2 月号 1 面掲載あり)、その他(非常勤職員募集、フェイスブック紹介等)6 件		
事業評価と課題への対応	放課後子ども教室で作成したスタッフ募集動画を広く周知した。また、事業の実施結果を掲載しているフェイスブックの紹介をトキメキの紙面で行い、ホームページへの誘導を行った。今後も事業開催に合わせたタイムリーな記事掲載を行う。		

<b>【2】公社ホームページによる情報提供事業 定款第 4 条第 1 項第 1 号 (2)情報提供 ①公社ニュース・ホームページ等作成</b>	予算現額	1,744,000 円	
	執行額	1,695,368 円	
	予定回数/目標人数	実施結果	
	随時	随時	
概要	公社概要や事業案内などの情報提供		
目的	公社事業への興味関心を高める。		
実施結果	1 最新情報に更新した。 (内容)トキメキ掲載の事業案内、講座等の実施案内、放課後子ども教室の状況、令和 3 年度財務諸表・事業報告、令和 5 年度予算・事業計画、会社概要等 2 Facebookへの投稿 3 申し込みフォーム、スタッフ専用ページ運用 4 動画の掲載 5 アクセス数 月平均 2,281 回(昨年度 1,931 回) 総計 27,372 回(昨年度 23,174 回)		
事業評価と課題への対応	放課後子ども教室スタッフ専用ページを活用して、スタッフに向けた研修動画の配信を行った。また、新規に「コンサート in ミュージアム 石洞美術館」の動画を掲載した。今後も、事業に合わせ様々な媒体で発信していく。		

## 5 その他

公益目的事業に対する人件費	予算現額	250,459,000 円
	執行額	230,400,375 円

<b>【1】公益目的事業に対する人件費 定款事業別体系 1~4</b>		執行額	230,400,375 円
概要	定款第4条第1項事業である「公益目的事業」を実施する職員の人件費		
実施結果	「公益財団法人足立区生涯学習振興公社の助成等に関する条例」による区補助金のうち、公益目的事業に係る人件費を按分(91%)した。		

公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営	予算現額	51,769,000 円
	執行額	45,375,176 円

<b>【2】公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、 財務運営 定款第4条第2項第4号【法人会計】</b>		執行額	45,375,176 円
概要	理事会・評議員会の開催及び庶務事務、基本財産等の安全確実な資産運用及び経理事務等		
実施結果	「公益財団法人足立区生涯学習振興公社の助成等に関する条例」による区補助金のうち、公益目的事業に係る人件費を按分(9%)した。 令和4年度の理事会・評議員会は、新型コロナウイルス対策を行ったうえで開催した。		



公益財団法人足立区生涯学習振興公社

令和4年度事業報告書

作成 公益財団法人足立区生涯学習振興公社

総務部 電話 03-5813-3724